

(7) 両生類

【改訂の概要】

- ・変更した種数

変更内容	種数	備考
新規追加	2	RDB2014には記載されていなかった種で新たに記載したもの
カテゴリー変更	ランク上昇	1 RDB2014と比較してランクが上昇したもの
	ランク下降	1 RDB2014と比較してランクが下降したもの
	情報不足解消	0 RDB2014では情報不足種とされていたものが、新たにランクづけされたもの
	情報不足	0 RDB2014ではランクづけされていたものが、新たに情報不足種とされたもの
	合計	2 RDB2014と比較してカテゴリーが変更されたもの
分類群変更	1	RDB2014と比較して分類群が変更されたもの
名称変更	0	RDB2014と比較して種名等の変更があったもの
削除	0	RDB2014に記載されていたもので改訂版では削除されたもの

- ・RDB2014では8種が掲載されていたが、今回のレッドデータブックでは2種が追加され、10種となった。
- ・トウホクサンショウウオについては、県内に広く分布し、個体数も多く確認されていることからランクを下降させた。
- ・ハコネサンショウウオについては、2012年の再分類により、本県に生息する集団がキタオウシュウサンショウウオに分割された。
- ・アカハライモリについては、産卵場所の消失や生息環境の悪化がみられることから新たに追加した。
- ・ニホンアカガエルについては、分布が局所的で、産卵場所の消失や生息環境の悪化が増大していることからランクを上昇させた。
- ・2022年の再分類によりツチガエルから分割されたムカシツチガエルについては、本県が分布の北限で、分布域や生息状況に不明な点が残ることから新たに追加した。